

# 平成25年度

(平成24年度事業対象)

教育委員会事務の点検・評価

報告書

北竜町教育委員会

【第2回活動評価委員会議 平成25年11月18日会議提出】

# 目 次

1.趣 旨	1
2.点検・評価の対象	1
3.点検・評価の実施方法	1

## 平成25年度（平成24年度事業）主要施策の「点検・評価」

1.学校教育の充実	2
2.生涯学習の推進	4
3.社会教育の充実	5
4.スポーツ・レクリエーションの振興	6
5.芸術文化の振興	7
6.社会教育施設の維持・管理及びスポーツ振興支援	8

## 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況	9
(2) 条例、規則等の制定及び改定の状況	9
(3) 教育委員の活動状況	10
(4) 平成24年度 北竜町教育委員会議案一覧表	12

## 平成25年度（平成24年度事業対象）生涯学習推進事業・社会教育 芸術文化事業 自己点検・評価一覧表

(1) 生涯学習推進事業	14
(2) 社会教育	14
(3) 芸術文化	18

## 平成25年度（平成24年度事業対象）北竜町社会体育事業 自己点検・結果一覧表

(1) 社会体育	19
----------	----

外部評価（活動評価委員）意見総評	22
------------------	----

## 1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

北竜町教育委員会は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため毎年度、教育委員会事務の点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して報告書を作成・公表することといたしました。

### **【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）**

#### **（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）**

**第27条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

**2** 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

## 2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、平成24年度教育行政執行方針に掲げた主要な事業実施状況について点検・評価を実施いたしました。

## 3. 点検・評価の実施方法

点検・評価報告書については、平成24年度教育行政執行方針に掲げられた主要な事業及び各事業の基本施策に基づく、内容、成果、自己評価・課題等を所管係が作成するとともに、点検・評価の客観性を確保するため、点検評価方法や結果などについて、学識経験を有する者（活動評価委員）からも意見を聴取しています。

### 評価ランク

- A ～ 充分達成した
- B ～ 概ね達成した
- C ～ やや達成した
- D ～ 達成に向けて努力している
- E ～ 取り組み無し

### 社会教育、社会体育事業の自己評価一覧表 評価ランク

- 5 ～ 充分達成した
- 4 ～ 概ね達成した
- 3 ～ やや達成した
- 2 ～ 達成に向けて努力している
- 1 ～ 取り組み無し

## 平成25年度（平成24年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価														
<p>1. 学校教育の充実</p> <p>1) 教育条件の整備</p> <p>ア) 学校施設の整備</p>	<p>次代を担う子ども達が夢と希望を持ち未来を切り拓いていくために必要な基礎・基本的な知識、技術を身に付け、心豊かに生き抜いていく力の育成に取り組む、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和の取れた「生きる力」を育みたくましく、豊かな人間性を育てる教育に努めました。また、本年度より中学校では、武道が必修化され、町技である「剣道」を選択し、授業が安全に出来るよう指導の徹底に努めました。</p> <p>更に、施設の周辺環境整備についても随時進めているところであります。</p> <p>小中学校教室のロッカーは、建築当時の多人数用のロッカーであり、児童生徒数が減少している状況では、利用スペースが狭く使いづらいため、3年計画で取り換え工事を実施、本年度で完了となっている。又、小中学校教室の網戸取付及び施設整備補修等を行った。</p> <p>中学校では、周辺環境整備として教頭住宅前取付雨水桝修繕及び舗装整備などの設備の不具合が出てきているため、改修が必要となっている。</p>	<p>本年度においても全国学力・学習調査状況の結果小中学校ともに、優秀な成績で教科においては、全国・全道平均を上回る調査結果でありました。今後とも児童・生徒の学力向上や教員個々の知識向上に向けた研修会などの参加を即して参りたい。</p> <p>町内小中学校施設の耐震補強工事については、完了しているが、内装などの耐震補強などは、実施されていない状況であるため、今後も年次計画に沿った大規模改修工事を財政当局と協議しながら進めていく必要がある。</p> <p>小学校施設設備の取替及び改修を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教室ロッカー取替工事</td> <td style="text-align: right;">586 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教室網戸取付工事</td> <td style="text-align: right;">265 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ガラスブロック修繕工事</td> <td style="text-align: right;">210 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パソコンルーム遮光カーテン</td> <td style="text-align: right;">111 千円</td> </tr> </table> <p>中学校内外環境整備改修を実施行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教室ロッカー取替工事</td> <td style="text-align: right;">200 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中庭アスファルト舗装撤去工事</td> <td style="text-align: right;">620 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体育館フローリング修繕工事等</td> <td style="text-align: right;">4,179 千円</td> </tr> </table>	教室ロッカー取替工事	586 千円	教室網戸取付工事	265 千円	ガラスブロック修繕工事	210 千円	パソコンルーム遮光カーテン	111 千円	教室ロッカー取替工事	200 千円	中庭アスファルト舗装撤去工事	620 千円	体育館フローリング修繕工事等	4,179 千円	B
教室ロッカー取替工事	586 千円																
教室網戸取付工事	265 千円																
ガラスブロック修繕工事	210 千円																
パソコンルーム遮光カーテン	111 千円																
教室ロッカー取替工事	200 千円																
中庭アスファルト舗装撤去工事	620 千円																
体育館フローリング修繕工事等	4,179 千円																
<p>イ) 教材・教具の整備</p>	<p>児童生徒の能力と適正に応じた学習強化を高めるため、教材・教具の整備を図っている。</p> <p>中学校の新学習指導要領の改正に伴い、武道が必修化され、町技である剣道を選択し、剣道防具レンタル及び打ち込み台の購入計画を行い、学習の充実を図った。</p>	<p>真竜小学校教材備品の購入を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">プロジェクター 2台購入</td> <td style="text-align: right;">250千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">電子キーボード 2台購入</td> <td style="text-align: right;">52千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">バレーボールネット・アンテナ購入</td> <td style="text-align: right;">41千円</td> </tr> </table> <p>中学校必修科目「剣道」支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">剣道防具レンタル料</td> <td style="text-align: right;">508千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">剣道打ち込み3台購入</td> <td style="text-align: right;">140千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">剣道パネル購入</td> <td style="text-align: right;">53千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">竹刀立て購入</td> <td style="text-align: right;">13千円</td> </tr> </table>	プロジェクター 2台購入	250千円	電子キーボード 2台購入	52千円	バレーボールネット・アンテナ購入	41千円	剣道防具レンタル料	508千円	剣道打ち込み3台購入	140千円	剣道パネル購入	53千円	竹刀立て購入	13千円	B
プロジェクター 2台購入	250千円																
電子キーボード 2台購入	52千円																
バレーボールネット・アンテナ購入	41千円																
剣道防具レンタル料	508千円																
剣道打ち込み3台購入	140千円																
剣道パネル購入	53千円																
竹刀立て購入	13千円																

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>2) 教育内容の充実</p> <p>ア) 学ぶ意欲を育て個性を生かす教育の推進</p>	<p>児童生徒が外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成のため、外国語指導助手（ALT）を招致し、小中学校へ派遣して、実践的英会話の授業に計画的な取組を行った。</p>	<p>小中学校とも教育課程編成に取り組み、小規模校としての特色ある教育課程にも積極的に取組んでいる。平成21年度より児童生徒に対して異文化に慣れ親しむための環境づくりを行い、国際社会に対応できる人材の育成のため、引き続き外国語指導助手を小中学校へ派遣し支援を行った。</p> <p>小中学校 外国語指導助手派遣委託業務 1,575千円</p>	B
<p>イ) 道德教育の充実</p> <p>ウ) 特別支援教育の整備と特別教育支援員の配置</p>	<p>社会参画への意欲や集団・社会の規律を守り、身近な人々と協力し助け合う態度等を養うことを目的として小中学校ともに奉仕活動として、毎年国道のゴミ拾い等を行う。又、小学校では、高齢者とのふれあい事業やスポーツ少年団活動を通して、粘り強さや努力、人との助け合い・思いやりの心を育んでいる。</p> <p>一人ひとりの教育的なニーズに応じた適正な学習機会の確保ときめ細やかな教育が実施されるよう支援を行った。又、通常学級に在籍する教育的支援が必要な児童に対しても、就学指導の検討・協議が充実して行われ、学級担任が配慮して指導することに加え、特別支援教育支援員を配置して指導の補助を行った。</p>	<p>ボランティア活動やスポーツ少年団活動を通して、社会の秩序と規律を養い、豊かな感受性や社会性が生まれ、人として社会のきまりを守り、協力し助け合う態度の育成に努め、今後も社会に貢献出来る人づくりを推進する必要がある。</p> <p>特別支援学級の配置は、中学校に1学級が配置されており、1名の生徒に対して担任が作成する指導計画に基づき、適切な教育指導を行っている。</p> <p>平成22年度から配置されている特別支援教育支援員を本年度より小学校に2名配置し、通常学級に在籍している注意欠陥や多動性障害などの兆候のある児童に対して、充実した支援が出来るよう継続配置を行った。</p> <p>特別支援教育支援員賃金・通勤手当 1,812千円</p> <p>特別支援教育児童・生徒支援費 中学校生徒1名学用品等支援 71千円</p>	B
<p>エ) 準要保護児童生徒の就学援助</p>	<p>経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、就学のための援助を行っている。</p>	<p>準要保護児童生徒の学用品等及び給食費の負担軽減を図った。</p> <p>小学校 準要保護児童支援負担額 102千円 児童学校給食費助成金 139千円</p> <p>中学校 準要保護生徒支援負担額 116千円 生徒学校給食費助成金 89千円</p>	A

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価								
オ) 北空知学校給食運営費の負担と児童生徒の学校給食費の助成	<p>北空知学校給食組合は、沼田町・秩父別町・雨竜町・北竜町の4町で運営されており、地域の農産物を使用するなど安全な食材の確保と衛生管理に万全を期し、栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供しております。</p> <p>当町においては、子育て支援の観点から保護者が支払う給食費の助成により保護者への負担軽減を図っている。</p>	<p>北空知給食組合の負担額及び児童生徒の給食費助成の状況について</p> <table border="0"> <tr> <td>北空知学校給食組合負担金</td> <td>6,482千円</td> </tr> <tr> <td>小学校給食費助成金</td> <td>1,413千円</td> </tr> <tr> <td>中学校給食費助成金</td> <td>1,322千円</td> </tr> </table>	北空知学校給食組合負担金	6,482千円	小学校給食費助成金	1,413千円	中学校給食費助成金	1,322千円	B		
北空知学校給食組合負担金	6,482千円										
小学校給食費助成金	1,413千円										
中学校給食費助成金	1,322千円										
カ) 教職員の研修と福利厚生の充実	<p>教職員の資質向上を目的とした研修会・研究会への参加の奨励及び北竜町教育振興会の充実を図るため、継続して補助金の助成と教職員の健康診断の助成を行っている。</p>	<p>教職員の研修等においては、今後更に教員の専門性を高める研修会に積極的に参加出来る体制づくりの支援を図り、多様化する教育に対し継続的に支援していく必要がある。</p> <p>今後も教育振興会並びに校長・教頭会に対して助成を継続する。また、教職員の健康管理についても健康診断を通じて支援を行っている。</p> <p>平成24年度教職員への助成状況</p> <table border="0"> <tr> <td>校長会・教頭会助成金</td> <td>170千円</td> </tr> <tr> <td>教育振興会補助金</td> <td>665千円</td> </tr> <tr> <td>教職員健康診断負担金</td> <td>338千円</td> </tr> <tr> <td>教職員人間ドック助成</td> <td>84千円</td> </tr> </table>	校長会・教頭会助成金	170千円	教育振興会補助金	665千円	教職員健康診断負担金	338千円	教職員人間ドック助成	84千円	B
校長会・教頭会助成金	170千円										
教育振興会補助金	665千円										
教職員健康診断負担金	338千円										
教職員人間ドック助成	84千円										
<b>2.生涯学習の推進</b> 1) 多様な学習機会の提供と学習情報の提供	<p>「いつでも」「どこでも」「だれでも」自由に学びを基本とした、公民館講座やひまわり大学、自主的なサークル活動の奨励、健康的に気軽な運動など町民が出来る学習機会の提供に努めた。また、広報誌による各種事業の実施状況や生涯学習カレンダーや防災無線で学習情報の提供を行った。</p>	<p>学習の参加状況については、本年度においても高齢化等により、横ばいか若しくは減少傾向にあり、参加者は限定されてきている。また、自主的なサークル活動についても同じような状況となっている。</p> <p>今後は、興味を持って気軽に参加することのできる学習内容の工夫と通年に亘り学ぶことのできる活動の工夫が急務となっている。また、生涯学習情報の提供発信の充実をさらに進める必要がある。</p>	B								
2) 生涯学習の推進体制の充実	<p>生涯学習推進本部の調整機関として社会教育委員に役割を担っていたが、事業の反省や評価を頂いております。又、本年度より北竜町の文化の向上発展に、特に実績の顕著な方を表彰する「北竜町文化賞」制度を設けた。</p>	<p>計画をあらゆる方向から見直し、現状に合った学習と効率的な事業の展開実施が必要である。</p> <p>来年度については、第4次北竜町社会教育中期計画の最終年の年であるため、推進体制の充実を更に進めて行かなければならない。</p>	B								

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p><b>3. 社会教育の充実</b></p> <p>1) 青少年教育 ア) 学習活動機会の提供</p> <p>イ) 異世代間交流機会の提供</p> <p>ウ) 団体組織の強化と指導者の育成</p> <p>2) 成人教育学習機会の提供と指導体制の充実</p>	<p>次代を担う青少年の育成を図るため、学校・家庭・地域が一体となって連携し、豊かな人間性や社会性を身に付ける学習機会や情報提供の充実が必要である。</p> <p>子どもたち自らが自主的に参加できるリーダー的な資質の養成を目的とした、子ども会主催によるリーダー研修会やジュニアリーダー研修会等への参加の推進を図る。また、小笠原、沖縄への体験セミナー参加の奨励を行った。</p> <p>高齢者の経験を活かした知識と能力を伝承するため、子どもと高齢者のふれあい事業を実施し、見学体験旅行や農園づくり・昔の遊び・餅つきなどの体験学習を行った。</p> <p>子どもたちの健やかな成長と健全な育成を図るため、子ども会育成連絡協議会や各種スポーツ少年団で、目的にあった活動を行っている。</p> <p>また各組織に携わる指導者の資質向上のため、研修会・講習会に派遣し、スポーツの振興と子どもの健全育成に努めている。</p> <p>近年の社会的環境の著しい変化や個人の価値観の多様化の中で、生活意識や社会生活の関わりも複雑化しており、成人教育の果たす役割は重要であることから、成人が町内で生活し生きがいを求めるため、ボランティアや文化活動、スポーツ指導者として養成するなど、活躍する場をさらに提供していかなければならない。</p>	<p>時代に即した活動の取り組みと主体性や協調性、創造性を身に付ける必要な研修会の開催や各種研修の派遣の奨励に努めなければならない。</p> <p>さらに、子どもたちが積極的に参加できるような情報の提供が必要である。</p> <p>B&amp;G海洋体験セミナー 小学校2名参加 154,000円</p> <p>B&amp;G海洋体験クルーズ 小学校2名参加 230,000円</p> <p>各種行事の開催日が、土日曜であるため、今後とも各少年団との連携を図り、子ども達が参加出来る体制づくりを図らなければならない。</p> <p>少子化による各種行事及び活動に支障を期たしている状況であるため、取り組みを考え、今後も組織強化の推進に努める。また指導者については意欲的に子どもたちの指導に当たっている。</p> <p>今後も指導者の養成と人材発掘に努める、必要がある。</p> <p>各少年団活動補助を本年度も引き続き行っている。</p> <p>北竜町スポーツ少年団2団体 130,000円</p> <p>誰もがいつでもどこでも学べる学習の場と自らが学びたいことを見つかる場の提供が重要な課題となっている。</p> <p>参加者の拡大と充実を図るには、学習ニーズの把握と計画的な講座の推進に努めるなど、様々な課題が山積している。</p> <p>また、計画的な学習や講座の開設のためにも指導者の養成が急務となっている。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3)家庭教育学習機会の充実と提供	<p>子どもの発達段階に応じた、親の子育てに対する支援を強化し、しあわせな家庭環境づくりを支援するため、子育て支援サークルなどを活用し、明るく豊かな家庭づくりのため、学校・保健部局や保育所などの団体と連携し、家庭教育学習の活動支援を図った。</p> <p>事業は、家庭教育学級、読み聞かせ教室、ピカピカキッズなどの実施</p>	<p>明るく豊かな家庭づくりのため、親子の絆を深める活動を展開し、ふれあいの機会の充実や学習機会を提供し、子どもの心身の発達段階にふさわしい適切な教育の推進と社会生活に必要な基本的習慣を身につけさせる活動の場を今後も継続し、支援を行う必要がある。</p>	B
4) 高齢者教育学習機会の提供	<p>高齢化が急速に進展する中で、高齢者自らが健康で自立した豊かな生活を送ることが出来る生きがいを高める学習活動と社会的な役割を発揮する場の提供が必要となっている。また、ひまわり大学については、多くの方々に参加頂けるよう学習内容の充実を図り、楽しく学習出来る環境づくりに努めた。</p> <p>事業は、ひまわり大学・生きがいセミナーなどの講座を行った。</p>	<p>高齢者の活動内容の固定化や個々の社会性、能力や健康に個人差があり、それぞれの生活や学習内容に応じた学習の提供を行った。また、高齢者の人材を活用した異世代との交流事業も継続できる支援を行っている。</p> <p>今後においても、生きがいを持って活動できる高齢者教育の推進が必要である。</p>	B
<b>4. スポーツ・レクリエーションの振興</b> 1) 生涯スポーツの普及	<p>体力の向上や健康増進、心身の健全な発達など、明るく活力に満ちた豊かな社会を形成していく上で、スポーツの振興は欠かすことができません。このため、子どもから高齢者まで一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、参加する機会の提供と利用者が安心してスポーツを行えるよう施設の維持管理に努めている。</p>	<p>町民がスポーツを通して体力増進・健康維持に役立つ活動を進めていくために、各種関係機関との連携を図り、気軽にスポーツ・レクリエーションを体験し、年代に応じた各種スポーツ教室の開催や団体との交流機会を多く提供する必要がある。</p>	B
2) スポーツ指導体制の強化	<p>町民主体のスポーツ活動の一層の活性化を促進するため、スポーツ少年団などスポーツ団体組織の育成を図るとともに、体育スポーツ推進委員などの指導者の育成・確保に努めた。</p>	<p>今後も、各種団体と連携しスポーツ指導者の養成と資質向上を図るため、研修会・講習会への派遣を継続していく必要がある。</p> <p>本年度においても体育協会へ補助を行っている。</p> <p style="text-align: right;">北竜町体育協会      200,000円</p>	B

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p><b>5. 芸術・文化の振興</b></p> <p>1) 創作・発表活動の充実</p> <p>2) 芸術・文化の鑑賞機会の拡充</p>	<p>生涯教育が進む中で、芸術・文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上での大きな力となるものであります。</p> <p>町民が芸術・文化活動を推進するために、主体的に行っている創作活動や発表の場を提供し、文化連盟をはじめ各グループ等の自主的な活動を支援し、各種講座の開設、町民文化祭の開催などの事業の実施により芸術・文化活動の振興に努めている。</p> <p>芸術・文化に触れる機会の提供と、創作発表の場の提供を行い、また芸術の旅として劇団四季「マンマミーヤ」鑑賞、音楽コンサート等の鑑賞機会の提供を行った。</p> <p>子どもたちには、町民文化祭での映画鑑賞の提供を行った。</p>	<p>芸術・文化の振興を図るため、町民文化祭の充実と町民自らが生涯学習の観点に立って芸術文化活動へ積極的に参加出来る体制づくりが必要である。</p> <p>また、学習機会の提供や指導者の育成、更にサークル活動の育成と自主的な活動に対しても支援が必要である。</p> <p>本年度永年に亘り、俳人としてご活動されている、西川町内会山本玲子氏のご功績を称え、イチイの森に句碑の建立を行いました。</p> <p>今後も、豊かな心を育み潤いのあるまちづくりを目指した文化活動を推進するために、優れた芸術にふれ合う機会の提供も継続的に行う必要がある。</p>	<p>B</p> <p>B</p>



## 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の開催状況及び審議件数

北竜町教育委員会の会議は、年10回の定例会及び特に必要と認められた場合に臨時会を開催しております。本年度の臨時会は、2回開催しております。

(開催期間 平成24年4月～平成25年3月)

会 議	年 月 日	報告件数	承認	議案件数	選挙
第4回定例会	平成24年4月26日	1	1	5	
第5回定例会	平成24年6月11日	1		4	
第6回定例会	平成24年7月26日	3			
第7回定例会	平成24年8月24日	1		1	
第2回臨時会	平成24年9月28日	1			2
第8回定例会	平成24年10月30日	4			
第9回定例会	平成24年11月21日	1	1	1	
第10回定例会	平成24年12月19日	1			
第1回定例会	平成25年1月25日	1		1	
第2回臨時会	平成25年2月20日			1	
第2回定例会	平成25年2月25日	1	(協議) 1	2	
第3回定例会	平成25年3月27日	1	2	2	
合 計		16	5 (協議1)	17	2

### (2) 条例、規則等の制定・改定状況

平成24年度条例、規則等の制定及び一部改正については、条例改正1件、規則改正5件、要項1件、の計7件となっております

- ・ 北竜町文化賞規則の制定  
(平成24年5月1日施行)
- ・ 北竜町スポーツ賞規則の制定  
(平成24年5月1日施行)
- ・ 北竜町立学校管理規則の一部改正  
(平成24年5月1日施行)
- ・ 修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の全部改正  
(平成24年6月1日施行)
- ・ 北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正  
(平成25年4月1日施行)
- ・ 北竜町立学校管理規則の一部改正  
(平成25年4月1日施行)
- ・ 北竜町要保護及び準要保護児童・生徒就学援助規則の一部改正  
(平成25年4月1日施行)

## (3) 教育委員の活動状況（抜粋）

教育委員会は、定例会や臨時会のほか町内小・中学校の入・卒業式への出席など、各種教育団体の行事への参加や学校訪問などを行っております。

月 日	活 動 内 容	会 場
4月3日	学校職員辞令交付式	公民館
4月6日	真竜小学校入学式	真竜小学校
4月6日	北竜中学校入学式	北竜中学校
4月11日	空知管内市町教育委員会連絡協議会総会並びに教育委員会教育長議	岩見沢市
4月19日	北空知地区就学指導協議会並びに北空知教育長会議	沼田町
4月24日	第2回町議会定例会	議事堂
5月2日	校長・教頭合同会議	公民館
5月8日	北竜町学校教育振興会総会	真竜小学校
5月10日	北竜町ひまわり大学入学式	公民館
5月17日	北竜町開拓記念式並びに功労者表彰式	開拓記念碑前
5月25日	北竜中学校 陸上記録会	北竜中学校
6月2日	真竜小学校 運動会	真竜小学校
6月12日	北竜町議会行政視察	町 内
6月27日	北空知教育長会議	秩父別町
6月28日	北竜消防演習	町 内
7月6日	北空知給食組合教育委員会	沼田町
7月9日	校長・教頭合同会議	公民館
7月11日	北海道市町村教育委員研修会	札幌市
7月13日	北竜町交通安全町民集会	公民館
8月6日	第4回町議会臨時会	議事堂
8月10日	北空知教育関係者合同交流会	深川市
8月11日～ 8月12日	北竜町教育長旗争奪北空知少年野球大会	町営野球場
8月17日	北竜町戦没者追悼式	公民館
8月20日	北空知給食組合教育委員会	沼田町
8月26日	北竜町民体育大会	真小グラウンド
8月28日	北空知教育長会議	秩父別町
8月30日	校長・教頭合同会議	公民館
9月1日	北竜町開町120年記念式典	公民館
9月3日	北空知給食組合教育委員会	沼田町
9月8日～ 9月9日	北竜中学校学校祭	北竜中学校
9月11日～ 9月14日	第3回町議会定例会	議事堂
9月13日	北空知中学校駅伝大会	町 内
10月6日	フットパス	町内コース
10月8日	レッゴー体育の日パークゴルフ大会	パークゴルフ場
10月13日	真竜小学校 学習発表会	真竜小学校
10月22日～ 10月23日	教育委員道内研修	三笠市ほか
10月30日	教育委員会施設調査	町内施設
11月2日～ 11月3日	北竜町民文化祭	公民館外

月 日	活 動 内 容	会 場
11月7日	北竜町教育振興会研究集会	真竜小学校
11月10日	北竜中学校吹奏楽部演奏会	公民館
11月11日	北竜町女性レクリエーション大会	改善センター
11月17日	北竜町ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会	改善センター
11月22日	北空知教育長会議	秩父別町
12月4日	北空知学校給食組合教育委員会	沼田町
12月6日	第4回町議会定例会	議事堂
12月10日	北竜中学校地域参観日	北竜中学校
12月18日	校長・教頭合同会議	公民館
12月19日	教育関係者懇談会	北竜温泉
12月21日	空知管内教育委員会教育長会議	岩見沢市
1月8日	北竜町消防団 出初式	消防庁舎前
1月13日	北竜町 成人式	公民館
1月19日	芸術鑑賞の旅	札幌市
1月22日	北竜中学校 ものづくり教室	北竜中学校
2月11日	町民スキー大会	町営スキー場
2月14日	校長・教頭合同会議	公民館
2月17日	北海道文化財団「文化の宅配事業」	公民館
2月20日	北竜町学校教育振興会年度末研修会	真竜小学校
2月21日	第1回町議会臨時会	議事堂
2月27日	北空知学校給食組合教育委員会	沼田町
3月7日	第1回議会定例会	議事堂
3月12日	北竜中学校卒業証書授与式	北竜中学校
3月14日	ひまわり大学卒業式	公民館
3月19日	真竜小学校卒業証書授与式	真竜小学校
3月25日	第2回町議会臨時会	議事堂
3月28日	空知管内教育長会議	岩見沢市

(4) 平成24年度 北竜町教育委員会議案一覧表

会 議 名	開 催 日	開催時間	議 案 番 号	議 件 名
定 例 第 4 回	平成24年4月26日	16時00分	報 告 第 6 号	教育行政報告について
			承 認 第 2 号	平成24年度 教育費補正予算(第1号) の承認について
			議 案 第 11 号	北竜町文化賞規則の制定について
			議 案 第 12 号	北竜町スポーツ賞規則の制定について
			議 案 第 13 号	北竜町立学校管理規則の一部改正について
			議 案 第 14 号	準要保護児童生徒の承認について
			議 案 第 15 号	奨学生の選定について
			協 議 事 項	
定 例 第 5 回	平成24年6月11日	16時00分	報 告 7 号	教育行政報告について
			議 案 第 16 号	平成24年度 教育費補正予算(第2号) の承認について
			議 案 第 17 号	空知教育センター組合規約の変更に係る意見について
			議 案 第 18 号	修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の全部改正について
			議 案 第 19 号	準要保護児童生徒の承認について
			協 議 事 項	
定 例 第 6 回	平成24年7月26日	16時00分	報 告 第 8 号	教育行政報告について
			報 告 第 9 号	北空知給食組合金銭事故について
			報 告 第 10 号	中体連体育大会の成績報告について
			協 議 事 項	
定 例 第 7 回	平成24年8月24日	16時00分	報 告 第 11 号	教育行政報告について
			議 案 第 20 号	平成24年度教育費補正予算(第3号) について
			協 議 事 項	
臨 時 第 2 回	平成24年9月28日	9時00分	選 挙 第 1 号	教育委員長の選挙について
			選 挙 第 2 号	教育委員長職務代理者の選挙について
			議 案 第 21 号	教育委員会教育長の任命について
			協 議 事 項	
定 例 第 8 回	平成24年10月30日	16時30分	報 告 第 12 号	教育行政報告について
			報 告 第 13 号	全国学力・学習調査分析、検証について
			報 告 第 14 号	学校給食の広域処理について
			報 告 第 15 号	学校施設における非構造部材の耐震点検について
			協 議 事 項	
定 例 第 9 回	平成24年11月21日	16時00分	報 告 第 16 号	教育行政報告について
			承 認 第 3 号	平成24年度(平成23年度事業対象)教育委員会点検・評価報告書について
			議 案 第 22 号	平成24年度教育費補正予算(第4号) について
			協 議 事 項	

会 議 名	開 催 日	開催時間	議 案 番 号	議 件 名
定例第10回	平成24年12月19日	16時00分	報告第17号	教育行政報告について
			報告第18号	北空知学校給食広域事務進捗状況について
			協議事項	
定例第1回	平成25年1月25日	16時00分	報告第1号	教育行政報告について
			議案第1号	北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について
			協議事項	
臨時第1回	平成25年2月20日	16時00分	議案第2号	北空知圏学校給食組合規約の制定について
			協議事項	
定例第2回	平成25年2月25日	16時00分	報告第2号	教育行政報告について
			協議第1号	平成25年度教育行政執行方針について
			議案第3号	平成24年度教育費補正予算(第5号) について
			議案第4号	平成25年度教育費予算の要請について
			協議事項	
定例第3回	平成25年3月27日	16時00分	報告第3号	教育行政報告について
			承認第1号	平成24年度教育費補正予算(第6号) の承認について
			承認第2号	平成25年度北竜町学校評議員委嘱の承認について
			議案第5号	北竜町立学校管理規則の一部改正について
			議案第6号	北竜町要保護・準要保護児童生徒就学援助規則の一部改正について
			協議事項	

平成25年度  
(平成24年度事業対象)

生涯学習推進事業・社会教育事業・文化芸術事業  
自己点検・評価一覧表

北竜町教育委員会

# 平成24年度 北竜町社会教育事業実施内容

## 生涯学習推進事業

No.1

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	生涯学習の推進	生涯学習が設置され、生涯学習の町づくりへの推進について基本的な方向が示されています。町民に「いつでも・だれでも・どこでも・なんでも」学習のできる環境の整備を図る。	通年		一般			1)各機関で行われている事業・行事の見直し 2)事業・行事の連携に向けての協議	第4次北竜町社会教育中期計画に基づき、生涯学習の推進をはかった。今後も環境整備等を努めていきたい。	1 2 ③ 4 5
2	生涯学習カレンダーの発行	生涯学習を実施している関係機関の活動内容を知らせ、計画的に学習活動に参加する意識を喚起する	年3回発行		一般			町、学校、社会教育団体、農業団体、商工団体等の行事を掲載 第1回 5月1日発行 5月～8月分 第2回 9月3日発行 9月～12月分 第3回 12月30日発行 1月～3月分	町内全戸・事業所等に配布した。事前に町内の各事業を周知することにより、町民へ計画的な事業参加を図ることが出来た。	1 2 3 ④ 5
3	生涯学習だよりの発行	毎月行われる生涯学習状況を、広く住民に知らせるとともに、参加を促す。	毎月1回発行		一般			毎月1回広報ほくりゅうに掲載し全戸配布	実施した事業を広報に掲載することによって、町民に対し事業の様子や状況を伝えることが出来た。	1 2 ③ 4 5
4	生涯学習振興事業助成	教育振興と住民の生涯学習を推進し、町民の心を健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与する。	通年		一般			生涯学習振興基金の活用 ①文化振興・イベント開催に関する事業 ②スポーツ等に関する事業 ③伝統・文化保存に関する事業 ④人材育成に関する事業 ⑤産業振興に関する事業 ⑥独創的な町づくり事業 ⑦生涯学習振興に関する事業	・図書館臨時職員賃金等 ・竜トピアハーブ演奏会事業 ・120年記念メモリアルコンサート ・市町村アカデミー研修等に生涯学習基金を活用しました。	1 2 ③ 4 5

## 社会教育

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	子どもと高齢者のふれあい事業	核家族化が進む中、世代間交流が少なくなっている傾向にあります。子どもたちに高齢者の持っている知識や技術を継承し、子どもたちに心豊かな経験の機会を設ける。	5月～2月 全8回	公民館他	小学生 高齢者	延べ170名	ふれあい事業推進委員	①開講式、農園づくり(5月)実施済 ②いちご狩り(6月)実施済 ③川は友達わんぱく夏まつり参加(7月)実施済 ④パン作り体験(8月)未実施 ⑤農園収穫祭(9月)実施済 ⑥もちつき体験(12月)実施済 ⑦かるた大会・豆まき(1月) ⑧元気に雪遊び、閉講式(2月)	子供と高齢者が事業を通じ世代間交流を行う事が出来た。子どもの休日の居場所づくりと高齢者に対する尊敬の心を養うため、今後も多様な事業を実施し、参加者拡充に努めていきたい。	1 2 3 ④ 5
2	ひまわり大学	高齢期になってもなお、生き生きと豊かに暮らすことが、高齢化社会における生涯学習のねらいです。学生が社会生活における役割を自覚し、それにふさわしい知識と教養を身につけ、自らの生きがいを創造しながら社会参加を図ることを目的とする。	5月～3月	公民館	高齢者		町内外の講師	①入学式(5月)実施済 ②講演8回(5・6・8・9・11・12・1・2月) ③見学旅行(7月)実施済 ④ひまわりオリンピック(10月)実施済 ⑤卒業式(懇親会・クラブ活動発表会)(3月)	今年度はヨガなど、生徒参加型の講演を多く取り入れ、充実した内容だったと考える。年々、入学者が減少しているため各老人クラブの総会に出向きPRを行った。	1 2 3 ④ 5

# 平成24年度 北竜町社会教育事業実施内容

No.2

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
3	フットパス	初夏の風景を堪能しながら、散策路をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	6/16	町内	成人	15名	教育委員会	サンフラワーパーク北竜温泉からヤマケン保養施設を経由し金比羅公園までを往復するコース(約9km)	小雨の落ちるあいにくの天候だったが最後まで歩くことができた。参加者は減少傾向にある。	1 2 3 ④ 5
		秋の紅葉を堪能しながら、散策路をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	10/6			21名			当日はサンフラワーパークで新米祭りも行われていて、フットパス以外でも楽しめた。前回参加者に案内を送ったことなどにより参加者が増加した。	1 2 3 ④ 5
4	北海道ジュニアセミナー	中・高校生を対象に、青少年施設を利用して研修を行い、集団生活の中で少年活動に必要な知識技術を習得し、広域的な視点に立った少年活動のリーダー育成を行う。	7/31~8/2	砂川少年自然の家	中・高校生		北海道教育委員会	道央の中高生が一同に会し開催 ・団体研修 ・フィールドワーク	中学校に案内したがひまわり観光案内と時期が重なり参加者がいなかった。	① 2 3 4 5
5	パソコン教室	今や欠くことのできないパソコンの知識と技術を身につけ、その機能を活用し生活をより豊かで効果的なものとする。	12月	中学校コンピュータ室	一般			①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネット	実施無し	① 2 3 4 5
6	読み聞かせ教室	幼少期から図書に感心を持ってもらうため、未就学児を対象とした、絵本などの読み聞かせ活動が大切である。また、親子のふれあい、子どもの情緒教育など家庭教育の観点からも絵本をとおして母親を対象に技術を習得してもらう。	3/28	図書館	未就学児・保護者	保護者9名 幼児15名 小学生1名	町内の指導者 子育て支援センター 大友優子氏	家庭教育を兼ねて幼児に合わせた絵本の選び方、読み聞かせ方法などを講習	幼児だけでなく、小学生も1名参加してくれて幅広い年代に読み聞かせ活動の大切さを教えることが出来た。	1 2 ③ 4 5
7	北空知シニアリーダー研修会	北空知に住む、中・高校生が集まり交流を図るとともに、将来の青年リーダー的存在として必要な技術の習得、国際文化を学ぶことにより実践力を高める。	1/5~8	道立青年の家	中・高校生	中学生1名	北空知社会教育関係職員	交流交換会、レクリエーション、グループワーク等のプログラムを通して研修を行う。	他市町の子供と交流する場を設けることにより、規則正しい生活と協調性を身に付けることが出来た。北竜町からは部活の練習等と重なって、1名の参加となってしまったので次年度は、中学校と連携を取り参加者確保に努めたい。	1 2 ③ 4 5
8	成人式	成人となったことを自覚し、社会人としての責任ある行動をしようとする新成人を祝福し激励する。	1/13	公民館	新成人等	成人者20名 父母 35名		式典、交流会	式典は厳粛に開催された。今年は寺内さんに依頼し小・中学校の卒業アルバムをスライドショーにして上映した。また、寺内さんが式典で撮影した写真をまとめたフォトブックを発売。7名が購入した。	1 2 3 ④ 5
9	洋裁教室	町内の成人女性を対象に、町内の指導者から洋裁の基本技術を学び家庭で役立てたり趣味づくりとして学ぶ	1/18 1/25 2/1	公民館	女性	延べ28名	町内の指導者 黒玲子氏	洋裁教室	講師の丁寧な指導により、古着を使い洋服作りを実施した。和やかな雰囲気、受講者それぞれが完成に向けて取り組んだ。	1 2 3 ④ 5

# 平成24年度 北竜町社会教育事業実施内容

No.3

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
10	家庭教育学級	家庭教育の振興をはかり、家庭・地域社会がそれぞれ教育的役割を認識し、機能を十分に発揮できる動機となる学習機会を提供する。	8月	公民館	PAT会員	16名	空知教育局 社会教育指導班 主査 芳村桐子氏	「子どものやる気を育てよう『〇〇しなさい』から〇〇したい』へ」をテーマにしたショートレクチャーのあと、ワールドカフェスタイルで子育てについて話し合った。「我が子への懺悔」という切り口から子どもの成長や日頃の悩みなどを話し合い、子ども達の自己肯定感を育むためにどう関わっていくかを意見交流した。	今回初めてグループワーク方式での家庭教育学級となった。参加者の様々な意見や交流が図られた。参加者は少なめだったが充実した時間を過ごすことができた。	1 2 3 ④ 5
11	ヨガ教室	町民の学習活動に参加する機会を設け、家庭で役立つ健康づくりの知識や料理のレシピ等を学ぶと共に仲間づくりを行うきっかけをつくり社会参加を促す。	ヨガ 2/13 2/20 2/27	公民館	一般	延べ41名	大矢江利子氏	ヨガ教室	今年は、若い保護者の参加が増え、多くの人ヨガのリラゼーション効果を実感することが出来た。	1 2 3 ④ 5
12	料理教室	町民の学習活動に参加する機会を設け、家庭で役立つ健康づくりの知識や料理のレシピ等を学ぶと共に仲間づくりを行うきっかけをつくり社会参加を促す。	料理3/15	公民館	一般	11名	高橋 正氏 杉山恵理子氏	料理教室	昨年と同様にフランス家庭料理を作成し、参加者からは味・手軽さを含めて、とても好評だった。	1 2 3 ④ 5
13	生きがいセミナー	高齢者が生きがいを持ち、社会参加をし活躍できるよう、いろいろな知識や技術を身につけることによって、家庭や地域での役割が見出され高齢者の生きがいが助長される。	2/28 3/7 3/21	公民館	高齢者	延べ51名	にちおん歌謡音楽学院 講師 河 岸利喜男氏	カラオケ教室	河岸先生のわかりやすい指導によって、受講生の真剣に取り組む姿が伺えた。天候により当初の予定日からずれて、不規則な日程になったこと以外は良い教室だった。	1 2 3 ④ 5
14	パソコンヘルプデスク	パソコンの知識と技術を身近なものにするため、日頃の疑問に答える場を提供する。	通年	公民館	一般		教育委員会 及び地域指導者	①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネット	実施無し	① 2 3 4 5
15	学校開放事業	町民の学習活動及びコミュニティーづくりの場として、学校施設を町民の利用に供する。	通年	小・中学校	一般			パソコン教室、スポーツ教室	実施無し	① 2 3 4 5
16	各種指導者育成講座	北海道教育庁等が主催する各種指導者育成事業に、自ら参加を希望する人に助成を行い、生涯学習振興のために指導者を育成し人材活用を図る。	通年		一般				実施無し	① 2 3 4 5
17	子ども会育成連絡協議会	青少年の心身共に健全な育成を図るため、町内会の子ども会により構成。	通年	改善センター・公民館他	成人・小中学生			・ わんぱく夏祭りへの参加(実施済) ・ リーダーキャンプ(実施済) ・ カーリング大会の実施(実施済) ・ かるた大会の実施(実施済) ・ リーダー育成講習会の実施(実施済)	昨年実施できなかった、リーダーキャンプを砂川こどもの国のキャンプ場で開催した。自然体験プログラムとしてマップリーディングやナイトハイキングを実施し、普段できない体験ができたと好評だった。	1 2 3 ④ 5

## 平成24年度 北竜町社会教育事業実施内容

No.4

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
18	地域教育力・体験活動推進協議会	青少年の週末・放課後活動、ボランティア活動推進のため、各学校、関係団体により構成	通年	公民館	成人			<ul style="list-style-type: none"> <li>週末・放課後活動の支援</li> <li>ボランティア活動の支援</li> </ul>	子供と高齢者のふれあい事業や学校が主体となって実施している。	1 2 ③ 4 5
19	女性連絡協議会	町内女性活性化のため、各町内会代表により構成。	通年	公民館	成人			<ul style="list-style-type: none"> <li>町民文化祭チャリティーバザー実施</li> <li>全町女性レクレーション大会</li> </ul>	女性協役員協力により計画事業順調に実施できた。	1 2 3 ④ 5
20	子ども見守りサポーター	地域の住民や団体の参画で子どもたちを犯罪や交通事故から守り、健やかな成長に寄与することを目的とする。	通年	町内一円	成人	登録者101名		<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時等の見守り、防犯パトロール及び交通安全啓発</li> <li>情報交換</li> </ul>	登校時の見守り活動を実施している。当番表を作成し4月に配布を行っているが、活動が任意のため活動を行っていない人もいるのが現状である。総会を開催しても参加者が数人しかおらず、開催時期・時間等の検討が必要である。	1 2 ③ 4 5
21	学校支援地域本部事業	学校と地域住民が連携し、教育機能が十分発揮できるよう人材バンクをつくり学習支援や環境整備など支援する体制を強化する。	通年	小学校 中学校	成人	人材バンク登録31個人・団体		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援活動(スキー、習字の授業支援)</li> <li>部活動(野球、バレーボール等)</li> <li>登下校安全指導(見守りサポーター等)</li> <li>学校環境整備(庭木の剪定、花壇整備等)</li> <li>学校行事支援(運動会、学芸会の支援)</li> </ul>	小中学校及びPTAと連携を図り、登下校時の見守り活動、学校環境整備を行った。今後も更なる連携を図りたい。	1 2 ③ 4 5

## 平成24年度 北竜町社会教育事業実施内容

文化芸術

No.1

No.	事業名	趣旨(平成24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	ひまわりボランク(一人一能制度)	地域社会の中で様々な技術を有する人を学習ボランティアとして活用し、生きがいを育てると共に、学習を通じて人々が連帯感や町づくりなどの意識を育てる。	通年		一般			「他薦」「自薦」により登録。  住民ニーズに応じた登録台帳の作成、公民館講座、地域づくり講座などで活用を図る。	社会教育、社会体育事業等の指導者をいただいている。	1 2 ③ 4 5
2	町民映画会(親子映画鑑賞会)	一つの作品を多くの人が同時に鑑賞し感動を共有することは意義があることである。ビデオ化されていない優れた映画の鑑賞機会を設け、町民の文化振興を図る。	11/2	改善センター	一般			町民文化祭の初日に合わせ、親子で楽しめる映画鑑賞を行う。	アニメ「トムとジェリー」を上映、幼児・小学校低学年の児童が多く保護者の来場も多く見られた。50分程度の短編映画のため、子ども達も集中して鑑賞できた。	1 2 3 ④ 5
3	町民文化祭	日頃の文化サークルの活動の発表の場として、また町民の文化に対する意識の高揚を図る場として実行委員会をサポートする。	11/2 ～11/3	公民館・改善センター	一般			町民文化祭実行委員会主催 ・ 芸能発表 14団体 175人 ・ 作品展示 16団体 263人 ・ チャリティーバザーの実施	日頃の稽古や練習、作品づくりの発表の場として重要な行事となっている。近年来場者も多く盛況であった。	1 2 3 ④ 5
4	芸術鑑賞の旅	芸術・文化の知識を高めるために、優れた芸術に接する機会を設け、自主的文化活動の促進を図る。	1/19	北海道四季劇場	一般	15名		1) 芸術文化施設の絵画、彫刻、音楽公演等の鑑賞 2) 町スクールバス利用 チケット代は個人負担	チケット代を個人負担としたが、多くの参加をいただいた。翌日が千秋楽だったため、スペシャル感も満喫できて、素晴らしい旅となった。	1 2 3 ④ 5
5	映画鑑賞の旅	優れた映画に接する機会を設け、心の情操や自主的文化活動の促進を図る			一般			1) 映画上映施設の映画鑑賞 2) 町スクールバス利用、チケット代は個人負担	実施無し	① 2 3 4 5

平成25年度  
(平成24年度事業対象)

北竜町社会体育事業  
自己点検・評価一覧表

北竜町教育委員会

# 平成24年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No. 1

No.	事業名	趣旨(24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	キッズエアロビクス	近年、子供達の運動能力の低下等が問題視されている。それらを改善するために幼児期よりしっかりと運動をする事により、運動神経の基礎をつくっていくことを助長する。また、集団で行うことにより協調性などの精神面の成長も助長する。	6/20 8/22 9/19 10/10  全4回	和保育園	保育園児  幼児とその親	延80名  延15組	パーソナルトレーナー 旭川市 山田 道代氏  子育て支援センター職員	和保育園において保育園児と子育て支援センター主管による「ピカピカキッズ」事業参加親子を対象とした運動教室。 キッズエアロビクス①②③ ミニミニ運動会	全4回中2回が終了。保育園児達は、元気に楽しみながら、最後まで集中してくれ、充実した内容で実施できている。また、一般参加親子も園児達の動きにつられ、楽しみながら実施することが出来ている。	1 2 3 ④ 5
2	初心者スキー教室	児童数の減少と余暇時間の過ごし方の変化に伴いスキーをする機会が減ってきたように思われる。幼い頃からスキーに親しみ、興味を抱かせることによって、冬の健康づくりとスキー人口の底辺拡大を図る。	1/5 1/6  全2回	町営 スキー場	6歳～8歳 までの 児童と その親	延べ 36名 (18名)	スキー指導 委員会指導員	○ スキーの履き方、脱ぎ方 ○ スキーを履いての歩行 ○ リフトの乗り方 ○ 滑り方	今年度、実施にあたりアンケートを行った。半々ではあったが、指導員の確保のため、正月明けに実施をした。4日は大雪の影響で除雪が入れず中止。6日に午後の部を設定し、3回分行った。指導員の熱心な指導により滑れなかった子もみるみる上達していった。次年度も指導員の確保を第一に考慮し、実施していきたい。	1 2 3 ④ 5
3	親子パークゴルフ教室	コミュニティスポーツとして広く親しまれてきたパークゴルフを少年たちにも広め、自主性、社会性を培うとともに、パークゴルフを通してスポーツの振興を図る。	10/8	ひまわり パーク ゴルフ場	小・中学生 とその親	児童 11名 保護者 10名	国立大雪 青少年の家  空知教育局 教委職員	現地集合→開講式→PG場でのマナーについて→基本技能習得(スイング等)→親子PG大会。 参加者全員に昼食のサービス。	体育の日開催の恒例事業だが、参加者は昨年より多かった。内容については昨年同様とし、マナーについて学んで頂いた。	1 2 3 ④ 5
	「体験の風をおこそう」 パークゴルフ・ニアピン ・ストラックアウト大会	子どもたちの健やかな成長に体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、体験活動の推進を図る。						今年度始めて開催したが、普段体験できない競技に参加頂いた親子は、楽しんでくれ、充実した内容で実施が出来た。		
4	水泳教室	水泳に関しては、指導・練習なくして上達はしない。水に慣れ親しむところから、さらには水泳技術の向上を図ることにより、体力増進・水難事故の未然防止を図る。	7/31 8/1 8/2	海洋 センター プール	小学生 低学年	延べ 31名	B&Gアキア インストラクター 藤信清彦氏	対象が低学年であるため、初歩的な実技指導を行う。(小学1・2年生)	1日1時間30分の教室。初心者・中級者とクラス分けを実施、最後はクロールまでとそれぞれに目標を設け、見事に達成をしていた。	1 2 3 ④ 5
5	水中レクリエーション大会	水中ゲームなど水と親しむことにより、海洋性スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくりや体力づくりの推進を図る。	8/3	海洋 センター プール	小学生	24名	B&Gアキア インストラクター 藤信清彦氏	プール周辺のゴミ拾いをした後、数種類のレクリエーション競技を実施。	低学年・高学年が同じ種目ということに高学年は物足りなさを感じているようであった。次年度検討の必要がある。	1 2 ③ 4 5
6	ベースボールフェスティバル	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	8月	町営野球場	小・中学生 成人	5チーム	ボランティアスタッフ	ナイターリーグの開催。 全10試合。 試合球の提供。	ベースボールフェスティバル実行委員会の主催により、限られた期間で幅広い年齢層が交流をし、白熱した試合が展開された。	1 2 3 ④ 5
7	「開町120年記念」 北竜町教育長旗争奪 北空知少年野球大会	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	8/11 ～ 8/12	町営野球場	小学生	8チーム	深川地区 軟式野球 連盟審判団	北空知各野球スポーツ少年団チームを招いて大会を実施。 トーナメント方式による対戦。	少子化もあり、前年度より1チーム減少した。大会開催にあたり、審判団及び一部の参加チームは別大会の日程と重複しており、日程や対戦するチームの調整が必要となる。	1 2 3 ④ 5

平成24年度

北竜町社会体育事業実施内容

No. 2

No.	事業名	趣旨(24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
8	北竜ライオンズクラブ杯 小学生バレーボール大会	北空知管内の小学生バレーボールチームの親睦と交流を図り、強健な心身の育成と技術の向上に努める。	11/17	改善センター	小学生	8チーム	各チーム指導者外	深川地区各バレーボールスポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	事前準備から当日に渡り指導者・後援会の協力を頂き、ケガもなく無事に終了することが出来た。合宿通学により間に合わないため、試合順の変更を行った。早期に案内をかけ、準備・対応する必要がある。	1 2 3 ④ 5
9	防犯少年剣道大会	剣道を通して少年の健全育成、活力推増進を図る。		改善センター	小・中学生			剣道少年団々員数の減少により未実施	—	① 2 3 4 5
10	B&G 『海洋体験セミナー』	実践的な海洋性レクリエーション活動を通して、「海」・「船」に対する理解と知識を習得させることで、人と海の関わりを知らしめ、規則正しい団体生活のもとに協調と連帯の精神を学習し、友情を深め豊かな人間性を養いあわせて海事思想の普及を目的とする。	8/7～11	沖縄県 (マリニピア ザオキナワ)	小学4年生 ～ 中学生	2名	教委職員 B&G財団 担当者	各学校へ参加者募集の周知、参加申込み等手続き及び参加者の決定。 参加費用助成。 体験セミナー 旭川空港まで往路引率 ・石田 采さん(小6) ・竹林那由羽さん(小6)	2名の助成枠を設けたが、少年団や部活動のため、申込者は少なく2名だったが、枠内での参加ができた。共同生活や慣れ親しまない土地・環境において、貴重な体験と社会性を学ぶことができた。	1 2 3 ④ 5
	3/25～30		小笠原、 父島	2名		体験クルーズ 新千歳空港まで往路引率 ・森島 朝斗くん(小4) ・金山 莉緒さん(小4)		2名の助成枠を設け、募集をしたところ、4名の申込みがあったが、抽選により参加者を決定した。全国の子ども達とふれあい、共同生活を共にする事で思いやりと自立の向上が図られたものとする。		
11	町長杯町民 パークゴルフ大会	誰もが気軽に、一人でもできるパークゴルフを通して、健康で明るく豊かな生活を目指すとともにスポーツに対する関心を高め、町民の体力の増進と意欲の向上を図る。	6/3	ひまわり パーク ゴルフ場	成人	男27名 女 5名 計32名	教委職員	各大会とも4コース36ホールによる、ストロークプレー、男女別個人戦にて実施。	全町民が参加対象の大会だが、参加者の固定化と女性参加者の少数化が顕著となっており、今後も町民の親睦と融和、健康づくりの場として継続的に実施していくためには、誰もが参加しやすい体制づくりが必要である。また、今後は町民だけにこだわらず、町外も視野に入れた検討も必要である。	1 2 ③ 4 5
	6/10		男35名 女 8名 計43名							
	7/16		男41名 女 7名 計48名							
12	レッツゴー体育の日 パークゴルフ大会	誰でも気軽にできるパークゴルフを通して、スポーツに対する関心を高め、体力の維持増進とともに健康で明るく豊かな家庭生活の一層の向上を図る。	10/8	ひまわり パーク ゴルフ場	成人	男37名 女13名 計50名	教委職員	3コース27ホールによるストロークプレー、男女別個人戦にて実施。 参加者全員に昼食のサービスを実施。	親子PG教室との併設開催のため、3コースのみで実施した。 昨年度より参加者は多かった。	1 2 ③ 4 5
13	スポーツ教室	誰もが気軽にできるスポーツとして提供することにより、健康な身体づくりを助長し、あわせて体力向上を図る。	2/21	改善センター	成人	男26名	和本町 阿部 孝司氏 スポーツ 推進委員	冬場の運動不足の解消を目的とし、誰もが気軽に参加できるような種目の軽運動を実施。	昨年に引き続き、フットサルを行ったが、青年・中年層の多くの参加者を頂いた。次年度については、意見も取り入れ、多くの参加者が来て頂けるよう新たなスポーツを検討したい。	1 2 3 ④ 5

平成24年度

北竜町社会体育事業実施内容

No. 3

No.	事業名	趣旨(24年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
14	ストレッチ教室	適度な運動を継続して行うことにより冬期間の運動不足解消・体型維持・血行促進といった効果を生み、参加者が健康的で生き生きとした生活が維持できるよう助長する。	2/20・22	改善センター	成人	男女 延22名	パーソナルトレーナー 旭川市 山田 道代氏	自宅で出来る簡単ストレッチ等の筋力トレーニング内容により実施。	今年度は若い世代の母親が多く、参加者からは盛況であった。より多くの参加を頂けるよう実施日やチラシ、内容に工夫を行っていきたい。	1 2 3 ④ 5
15	ライオンズクラブ杯争奪全町女性ミニバレーボール大会	気軽にできるミニバレーボールを通じて、中高齢者が明るく豊かな生活が送れるよう、体力の維持増進とスポーツへの関心を高める。	1/27	改善センター	女性	8チーム 55名	スポーツ推進委員	参加チームを2クラス(A・B)に分け優勝を争う。	ケガ人も無く、終了できたが、インフルエンザ等により当日の欠席者が多く、選手が揃わないチームがあった。参加しやすい体制が必要である。また、年々参加チームが減少傾向にあるため、アンケートを実施、スポーツ推進委員会議において検討を行っていく。	1 2 ③ 4 5
16	全町女性レクリエーション大会	町内女性が一堂に会し、相互の親睦と融和を図りレクリエーションで楽しみながら交流を図る。	11/11	改善センター	女性	116名	スポーツ推進委員	6種目のレクリエーションと大抽選会の実施。	参加者が減少傾向にあることから、今年度種目を変更し、実施した。今後も内容を見直しながら参加者が増加するよう工夫が必要。	1 2 ③ 4 5
17	ひまわりオリンピック (旧老人オリンピック)	高齢者になると集団で協力して活動する機会が少なくなりがちである。そこで、仲間と目的を持ち気軽に楽しく運動できることがこれからの生活にますます重要になってくる。仲間とともに楽しみ交流を図る。	10/11	改善センター	高齢者	53名	スポーツ推進委員	9種目のレクリエーションとジュース、豚汁のサービス	参加者が減少傾向にあることから、今年度種目の変更や順位に応じ、副賞を用意し、開催した。今後も内容を見直しながら参加者が増加するよう工夫が必要。	1 2 ③ 4 5
18	教育長杯ゲートボール大会 町長杯ゲートボール大会 議会議長ゲートボール大会	高齢者が気軽にできるゲートボールを通じて、健康で明るく豊かな生活を目指し、スポーツに対する関心を高め体力の増進と地域の仲間づくりを図る。		ゲートボール場	高齢者				ゲートボール人口が年々減少し、大会が開催できない状況にある。活動は町外の大会に参加はしているものの練習では集まっても2チームがやっとの状況である。次年度については、1大会が開催できるよう検討をしていく。	① 2 3 4 5
19	爽やかラジオ体操会	ラジオ体操は何の気兼ねも無く「誰でもできる体操」として一般的に広く知られていることから、早朝のラジオ体操を生活習慣のひとつとして活用してもらい健康増進を図る。	7月1日 ～ 9月30日	公民館前	全町民	40名	ラジオ体操愛好者	ラジオ体操会への支援。 本年度実施期間(92日間) 実施日数 79日 雨天中止日数 13日	7月1日～9月30日までの3ヶ月間の雨天日を除き毎日実施。今年度、最終日に参加賞として、飲物等の配布。	1 2 3 ④ 5
20	スポーツ少年団本部	少年がスポーツを通じて技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図る。	通年			2団体 35名		少年団活動への支援。 (野球・バレーボール)	今年度、児童の減少により剣道スポーツ少年団が解散をした。コーチの資格取得に対する助成の検討中。	1 2 3 ④ 5

## 1. 外部評価（活動評価委員）意見総評

### 1) 教育条件整備について

小中学校の施設耐震化事業は完了しているが、今後計画に基づき大規模改修の実施など計画的に実施し、学習環境の整備に努められたい。

また、小中学校施設補修や学習機器の更新についても、計画的更新に努めていただきたい。

### 2) 教育内容の充実について

A L T（外国語指導助手）の学校支援については、継続して支援を行っているが、学習指導計画に基づく小学校5・6年生の外国語活動だけではなく、各学年においても、英語に慣れ親しむ機会を作るよう努められたい。

学校教育支援員は、小学校に配置し学習に困り感のある子ども達の一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行っており、本年度より増員して2名を配置しているので、今後とも一層の支援充実を図っていただきたい。

### 3) 生涯学習の推進について

昨年度同様に高齢者参加人数が減少していることを踏まえ、参加募集方法の検討や講演内容についても工夫を図り、高齢者の生きがいを見出す題材の提供に努めていただきたい。

また、公民館など社会教育施設は、学習拠点の場として重要な役割の場であるため、屋内外の環境美化などの整備を行い、多くの方々が心地よく利用出来る適正な維持管理に努めていただきたい。

### 4) 社会教育の充実について

子ども達の実体験の場として支援を行っていたB&G海洋体験セミナーと体験クルーズが来年度より中止となるため、子ども達が実体験出来る事業の取り組みをお願いしたい。

高齢者のふれあい事業を継続実施し、高齢者より昔ながらの遊びの継承や子ども達が土と親しむ機会の提供に努めていただきたい。

「爽やかラジオ体操」は、子どもから大人まで参加しているもので、健康増進に役だっているものと考えられる、今後とも継続していただきたい。

少子高齢化が進み、各種スポーツ教室や大会等参加人数の減少が見られるが町民の健康と体力向上を図るため、年齢に応じた内容で行い継続したスポーツ振興に努めていただきたい。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

[昭和三十一年六月三十日法律第百六十二号]

[総理・文部大臣署名]

[沿革]

地方教育行政の組織及び運営に関する法律をここに公布する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

目次

第一章 総則（第一条・第一条の二）

第二章 教育委員会の設置及び組織

第一節 教育委員会の設置、委員及び会議（第二条―第十五条）

第二節 教育長及び事務局（第十六条―第二十二條）

第三章 教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限（第二十三条―第二十九条）

第四章 教育機関

第一節 通則（第三十条―第三十六条）

第二節 市町村立学校の教職員（第三十七条―第四十七条の四）

第三節 学校運営協議会（第四十七条の五）

第五章 文部科学大臣及び教育委員会相互間の関係等（第四十八条―第五十五条の二）

第六章 雑則（第五十六条―第六十三条）

附則

（事務の委任等）

第二十六条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

一 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。

二 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。

三 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。

四 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

五 次条の規定による点検及び評価に関すること。

六 第二十九条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、第一項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。